



令和3年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年2月4日

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン
コード番号 9027 URL <http://www.loginet-japan.com/>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 潤美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画統括部長 (氏名) 久保田 優

TEL 011-251-7755

四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	49,230	1.6	2,788	2.3	2,762	2.8	1,841	2.0
2年3月期第3四半期	50,043	8.8	2,853	11.4	2,842	11.4	1,878	11.1

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 1,899百万円 (1.1%) 2年3月期第3四半期 1,878百万円 (15.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	309.20	
2年3月期第3四半期	310.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第3四半期	35,863	14,643	40.1
2年3月期	32,096	13,729	42.0

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 14,386百万円 2年3月期 13,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期				47.00	47.00
3年3月期					
3年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	0.6	3,450	3.3	3,400	2.4	2,200	3.4	372.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年3月期3Q	7,010,681 株	2年3月期	7,010,681 株
期末自己株式数	3年3月期3Q	1,256,601 株	2年3月期	1,006,593 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年3月期3Q	5,955,904 株	2年3月期3Q	6,051,801 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と経済活動の両立に向けた政策効果等による一時的な持ち直しが見られたものの、感染の再拡大にともない経済活動抑制の動きが強まり、経済活動停滞の長期化が予想されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。物流業界においても、社会経済活動の停滞による先行き不透明な景況感の中で、収益に対するコスト負担は引き続き増加しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは衛生管理の徹底や時差出勤・在宅勤務の導入など、従業員の安全と健康を確保するための感染拡大防止策を講じつつ、昨年度からスタートした中期経営計画に基づき、地域別の将来を見据えたセグメント別の事業展開や、長距離幹線輸送サービス「R&R」やEC事業の拡販など魅力的なロジスティクスサービスの開発・提供に加え、業務改善による省力化やIT投資による生産性向上の推進など、将来を見据えた取組みを進めてまいりました。また今期はEC事業のみならず大手流通企業との新規取引も開始し、第3四半期より当社グループの業績に大きく寄与してまいりました。

地域別セグメントの業績は、次のとおりです。

<北海道地区>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で旅行業が大幅減収となったほか、主力の物流事業も低調に推移したことなどから、営業収益は前年同期比6億5千万円減(△3.9%)の158億7千7百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比1千2百万円減(△1.5%)の7億9千5百万円となりました。

<東日本地区>

輸送需要が第3四半期に入り回復基調であり新規取引の開始もあったものの、第2四半期まで低調に推移していたことが影響し、営業収益は前年同期比8億7千2百万円減(△3.7%)の228億1千2百万円、セグメント利益(営業利益)は、物量に見合った自社車両の配置により内部の生産性を上げて収益を維持する施策の効果などから、前年同期比6千9百万円増(+5.3%)の13億7千万円となりました。

<西日本地区>

物流事業における新規取引の開始などにより、営業収益は前年同期比4億2千6百万円増(+4.6%)の96億7千9百万円となりましたが、セグメント利益(営業利益)につきましてはコロナ禍による第1四半期の一時的で急激な取扱数量減少の影響から、前年同期比1千1百万円減(△2.1%)の5億2千1百万円となりました。

これらの結果、当社グループ全体の営業収益は、前年同期比8億1千2百万円減(△1.6%)の492億3千万円となりました。利益面においては、内部経費の抑制を行った結果、営業利益は前年同期比6千5百万円減(△2.3%)の27億8千8百万円、経常利益は前年同期比8千万円減(△2.8%)の27億6千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3千6百万円減(△2.0%)の18億4千1百万円となりました。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントを事業会社別単位から地域別単位に変更しており、上記の前年同期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前期末から37億6千7百万円増加し、358億6千3百万円となりました。

このうち、流動資産は営業未収入金の増加などにより23億9千1百万円増加し、127億9千8百万円となりました。また、固定資産は車両の取得などにより13億7千5百万円増加し、230億6千5百万円となりました。

当第3四半期末の負債は、前期末から28億5千3百万円増加し、212億1千9百万円となりました。

このうち、流動負債は27億5千7百万円増加し、173億9千6百万円となりました。また、固定負債は9千5百万円増加し、38億2千3百万円となりました。これらの主な要因は、車両の取得及び自己株式の取得等による借入金の増加によるものです。

当第3四半期末の純資産は、前期末から9億1千4百万円増加し、146億4千3百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は40.1%となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加15億5千9百万円に対して、第3四半期連結会計期間に実施した自己株式立会外買付取引による自己株式の取得7億2百万円を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和3年2月3日発表値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	316,100	760,441
受取手形	911,915	993,032
営業未収入金及び売掛金	8,176,033	9,498,417
たな卸資産	113,531	120,434
その他	894,854	1,429,380
貸倒引当金	△5,687	△3,239
流動資産合計	10,406,748	12,798,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,394,244	3,313,952
機械装置及び運搬具(純額)	6,808,954	8,208,290
リース資産(純額)	403,340	305,644
土地	6,455,727	6,495,441
その他(純額)	591,085	685,599
有形固定資産合計	17,653,351	19,008,927
無形固定資産	296,553	299,157
投資その他の資産		
投資有価証券	1,307,252	1,370,959
繰延税金資産	364,001	326,614
差入保証金	1,577,662	1,587,612
その他	499,567	475,366
貸倒引当金	△8,816	△3,327
投資その他の資産合計	3,739,666	3,757,225
固定資産合計	21,689,571	23,065,310
資産合計	32,096,319	35,863,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	233,001	207,686
営業未払金及び買掛金	5,016,466	5,611,526
短期借入金	6,081,350	7,764,813
リース債務	155,648	138,892
未払法人税等	699,878	405,395
役員賞与引当金	102,750	—
その他	2,349,682	3,267,725
流動負債合計	14,638,778	17,396,040
固定負債		
長期借入金	2,632,108	2,803,098
繰延税金負債	171,792	188,860
リース債務	257,409	191,833
役員退職慰労引当金	226,810	204,310
退職給付に係る負債	226,739	239,820
資産除去債務	11,750	11,750
その他	201,370	184,126
固定負債合計	3,727,979	3,823,799
負債合計	18,366,757	21,219,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	592,584	592,584
利益剰余金	12,943,418	14,502,788
自己株式	△736,032	△1,438,555
株主資本合計	13,799,970	14,656,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△325,779	△270,752
その他の包括利益累計額合計	△325,779	△270,752
非支配株主持分	255,371	257,873
純資産合計	13,729,562	14,643,938
負債純資産合計	32,096,319	35,863,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
営業収益	50,043,003	49,230,826
営業原価	45,087,497	44,297,745
営業総利益	4,955,505	4,933,081
販売費及び一般管理費	2,101,899	2,144,755
営業利益	2,853,605	2,788,325
営業外収益		
受取利息	6,022	4,576
受取配当金	41,523	58,316
寮収入	40,011	44,333
その他	61,802	42,229
営業外収益合計	149,360	149,456
営業外費用		
支払利息	41,034	43,456
寮支出	91,756	99,184
その他	28,052	33,129
営業外費用合計	160,843	175,770
経常利益	2,842,122	2,762,011
特別利益		
固定資産売却益	—	169
投資有価証券売却益	2,781	25,124
特別利益合計	2,781	25,294
特別損失		
固定資産除売却損	19,087	7,757
会員権評価損	—	2,374
リース解約損	—	2,154
特別損失合計	19,087	12,286
税金等調整前四半期純利益	2,825,816	2,775,019
法人税、住民税及び事業税	905,134	879,525
法人税等調整額	9,956	51,159
法人税等合計	915,090	930,685
四半期純利益	1,910,725	1,844,333
非支配株主に帰属する四半期純利益	32,488	2,772
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,878,237	1,841,561

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)
四半期純利益	1,910,725	1,844,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,811	55,026
その他の包括利益合計	△31,811	55,026
四半期包括利益	1,878,914	1,899,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,846,424	1,896,556
非支配株主に係る四半期包括利益	32,490	2,804

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	16,528,237	23,685,606	9,252,429	49,466,274	576,728	50,043,003
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,823,145	450,544	503,017	4,776,707	1,991,574	6,768,281
計	20,351,383	24,136,151	9,755,446	54,242,981	2,568,303	56,811,284
セグメント利益	807,924	1,300,971	533,113	2,642,010	787,589	3,429,600

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は556,224千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,642,010
「その他」の区分の利益	787,589
受取配当金の消去	△556,224
その他の調整額	△19,770
四半期連結損益計算書の営業利益	2,853,605

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	15,877,527	22,812,873	9,679,293	48,369,695	861,131	49,230,826
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4,622,014	532,362	264,520	5,418,897	2,214,447	7,633,345
計	20,499,542	23,345,236	9,943,813	53,788,592	3,075,579	56,864,172
セグメント利益	795,875	1,370,464	521,940	2,688,281	820,224	3,508,505

(注) 「その他」は、持株会社である当社及び株式会社ロジネットジャパン九州の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金、経営指導料及び九州地区における営業収益であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は674,664千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,688,281
「その他」の区分の利益	820,224
受取配当金の消去	△674,664
その他の調整額	△45,515
四半期連結損益計算書の営業利益	2,788,325

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、令和2年11月6日開催の取締役会において、第2四半期連結会計期間より、下記のとおり報告セグメントを変更することを決議いたしました。従来、当社グループは、経営資源の配分の決定及び業績を評価する検討対象として、事業会社を基礎とした「札幌通運グループ」、「ロジネットジャパン東日本グループ」、「ロジネットジャパン西日本グループ」の3つを報告セグメントとしておりましたが、グループ内組織再編の過程において、札幌通運グループにて本州地区の営業窓口を一部継続的に取り扱っていたことから、現行の「報告セグメント」と「地域別実績」との間に乖離が生じておりました。

当社グループの事業拡大において国内各事業エリアにおける状況をより適切に把握するため、当社における報告セグメントを事業会社別単位から地域別単位に変更し、セグメントの名称を「北海道」「東日本」「西日本」として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分により作成したものを記載しております。